

(令八国発後)

# 小論文

- ・問題は1～15ページである。
- ・下書き用紙は中に2枚入っている。

注意 解答は答案用紙に縦書きで記入しなさい。

小論文 二五〇点

次の文章を読んで、あとの問一〜四に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

著作権保護の観点から、問題は掲載していません。

出典 青田麻未『「ふつうの暮らし」を美学する―家から考える「日常美学」入門』光文社 二〇二四年（ただし、本文の一部に改変および省略がある。）

注

帰国者に対する自宅待機の要請…二〇二〇年初めにおこった新型コロナウイルス感染症のパンデミックにもなって感染拡大を防ぐため、海外の流行地域から日本への帰国者に対して実施された政府対応。

問一 傍線部ア「私たちの日常生活が親しみのみで構成されているか」とあるが、どういふことか。七  
五字以内で説明しなさい。(配点二〇点)

問二 傍線部イ「そこが自分にとってどうでもいい場所になったのではなく、むしろ自分の日常の欠かせない構成要素になる」とあるが、どういふことか。ある場所が自分の日常の欠かせない構成要素になる過程について、二〇〇字以内で説明しなさい。(配点五〇点)

問三 傍線部ウ「新奇さは、親しみとともに日常生活を支える重要な要素である」と筆者は述べているが、どういふことか。ハアパラとレディの主張をふまえて、三〇〇字以内で説明しなさい。(配点六〇点)

問四 傍線部エ「私たちはその世界が自分にとってどのようなものでありうるか、解釈を変えることができるのです」とあるが、あなたがこれまでに親しんできたことについて、入学後の本学科で学びたいことと関連付けて解釈し直すとしたら、どのように解釈し直せるか。あなたが親しんできたことの具体的な例を挙げながら、本文全体の論旨をふまえて、八〇〇字以内で論じなさい。(配点一二〇点)

【訂正・追記】

本文末尾に記載の出典について(14ページ) ※本文に修正を反映していません。

(誤) 「ふつう暮らし」を美学する

(正) 「ふつうの暮らし」を美学する